

# 長田区 かわります



# NAGATA

(写真に使用しているイメージパースは今後変更の可能性あります)

## 新長田南地区のにぎわいづくり

新長田南地区のにぎわいづくりのため、令和元年度に約1,000人の職員が働く新長田合同庁舎を県と協力して整備しました。さらに令和5年度には県立総合衛生学院や県立大学・兵庫教育大学のサテライトキャンパスが完成し、約1,000人の学生・職員が新長田に通うことになります。また、再開発ビルの地下通路や地下鉄山手線新長田駅の改修を行い、さらにはJR新長田駅前にはバスターミナルも整備し、新長田の活性化と利便性の向上を目指します。



JR新長田駅バスターミナル



新長田合同庁舎



地下鉄新長田駅

## 西市民病院の建替移転

市街地西部の中核病院である西市民病院は、建物が狭くなり、設備も老朽化していることから、新長田駅前の若松公園への建替移転を予定しています。医療機関としての機能を強化することに加え、地域の活性化やまちづくりにも寄与します。



## 地下鉄長田駅周辺のリノベーション

地下鉄長田駅周辺は、迷惑駐輪が多く、人々が憩える場所も多くありません。令和元年度には新湊川沿いに広場を整備しました。さらに長田区北中部の拠点にふさわしい場所としての快適な空間作りと駐輪場の再整備に向けた検討を行っています。



## 空き家・空き地を再生します



所有者を支援し空き家の活用を進める「空き家おこし協力隊」の設置やアーティスト・クリエイター等の活動拠点の開設に関する補助により、空き家の活用を図っています。また、空き地を菜園として利用し、地域交流や多文化交流を行う「多文化共生ガーデン」などの取り組みを支援することで、空き地の活用も図っています。

## 「ながた緑プロジェクト」を進めています



緑豊かな長田区北部の魅力を発信し、緑の少ない南部との交流も図る「ながた緑プロジェクト」を進めています。獅子ヶ池では地域の方々による里山活動を支援し、南部の商店街には六甲山の間伐材を活用したベンチ付きプランターを設置しています。緑を増やすだけでなく、お買い物途中の休憩場所としても利用していただいています。

## 多文化と共生するまちへ



神戸国際コミュニティセンター

外国人の割合が中央区に次いで多い長田区では、色々な文化と共生することが大切です。今年の秋に、外国人の生活を支援している神戸国際コミュニティセンターが、三宮から長田区に移転します。色々な文化を背景とする人々がお互いの理解を進め、共に支え合って暮らせる環境づくりを行います。

## 「おやこふらっとひろば ながた」がオープンしました

子育て中の親子がふらっと気軽に訪れ、遊んでくつろげる場所が、令和2年6月1日、長田区役所4階にオープンしました。常駐のスタッフを配置し、お子さんが遊ぶおもちゃや絵本があるだけでなく、子育て情報の発信もしています。

